

2025 政策研究大学院大学
公共政策プログラム

地域政策コース



政策研究大学院大学
NATIONAL GRADUATE INSTITUTE
FOR POLICY STUDIES

ごあいさつ

政策研究大学院大学(GRIPS)は、政策及び政策の革新に関わる研究と教育を通して、我が国及び世界の民主的統治の発展と高度化に貢献することを目的として、1997年に日本初の本格的な政策研究・教育の拠点として誕生しました。

設立以来一貫して、日本と世界の現実に即応した政策研究を促進するとともに、国内外の政府部門で働くミッドキャリアの行政官等を主な対象にして、高度な政策研究に関する大学院教育を行ってきました。

キャンパスは東京都心・六本木に位置し、毎年50を超える国と地域から学生が集まるという世界でも有数の国際色豊かな教育機関であり、このような環境は、日本人学生にとって、将来の世界各国の指導者となり得る留学生との絆を深めることができるという貴重なものです。

地域政策コースは、そのような環境の中で、グローバルな視点も兼ね備えた、将来の自治体の中枢を担うに足る中核的人材の養成を目的としています。

その前身であり、本学の開学当初から設置された地域政策プログラムの時代から通算すると、これまで490人を超える修了生を輩出してきました。多くの修了生が自治体の中枢部門で活躍し、また日本全国をつなぐネットワークを形成しています。

我が国は、総人口が2008年をピークに減少局面に入っており、2020年の国勢調査の結果によると39の道府県、8割を超える市町村で5年前に比べて人口が減少しています。一方で生産年齢人口が減少し、2040年頃には高齢者人口がピークを迎えて歴史上経験したことのない事態に直面することが見込まれています。また、大規模・複雑化する災害の多発や感染症リスクの対応等により、自治体を取り巻く社会構造の大きな変革も予想されます。

こうした変化の中で、自治体の経営や行政サービスの提供をどのように持続可能なものとしていくか、地域の活力をいかに維持していくかという課題に対して、それぞれの地域ごとに将来の変化を見通した上で、その解決のための方策を真剣に考えていく必要があります。

このような時代にあって、地域政策コースでは、高度なジェネラリストとして国内外にわたる幅広い視野と知識を持ち、的確な分析、総合的な判断、効果的な実践を通じてこれらの諸課題に適切に対処できる政策構想力と行政経営能力を有する人材を養成すべく、さらに充実した教育をめざしています。地域の未来を創り出そうとする意欲にあふれた方々が門を叩かれることを期待します。

政策研究大学院大学
学長
大田 弘子



地域政策コースの概要

目指す人材像

- 地方分権や地方創生が進展する中で、高度のジェネラリストとして将来の自治体幹部となり得る人材
- 豊かな政策構想力と優れた行政運営能力を備え、中央省庁の行政官をも凌駕する人材

コースの特徴

● 1年間の修士課程コース

通常2年間の修士課程教育を1年間で行います。

授業科目による必要単位の取得に加え、修士論文(ポリシー・ペーパー)の審査に合格することが修了要件です。

修了者には、修士(政策研究)の学位とともに、コース修了証が授与されます。

● 自治体の中枢を担う中核的人材を養成

総務企画部門を中心として、幅広い分野で活躍することができる高度のジェネラリストを養成します。

専門的な知識、総合的な判断力、高度な実践力など、政策プロフェッショナルとして必要な能力の修得を目指します。

● 政策のキーパーソンによる最新の知見の提供

コース指定科目において、総務省の行政官や自治体の幹部職員等から、最新の政策動向や事例を学ぶことができます。

● 自治体間の政策ネットワークの形成

全国の自治体から集う学生同士のネットワークは、修了後においても政策情報の交換などを可能にする貴重な財産となります。

● 国際的な環境と視野の中での教育

外国人留学生が学生の約3分の2を占めるという、世界的に見ても国際色豊かな教育環境で学びます。

アジア諸国等の地方行政のリーダーを養成するヤング・リーダーズ・プログラム(地方行政)の学生をはじめとする留学生との交流を通じて、国際的視野とネットワークを広げます。英語科目を履修することにより、Global Studies認定証が授与されます。

カリキュラム

■ 必修科目(2単位)

- 研究技法基礎 …………… 特定の課題に関してポリシー・ペーパーを作成するために必要な技法を学ぶ

■ コース指定科目(5科目、10単位)

- 地方行政論 …………… 地方自治法を中心にわが国の地方自治を総括的に学ぶ
- 地方財政論 …………… 地方財政制度及び自治体の財政運営について学ぶ
- 地方行政特論 …………… 総務省の行政官等から最新の制度改革や施策動向について学ぶ
- 地方財政特論 …………… 人口減少等社会構造変革下の地方財政運営の在り方について学ぶ
- 自治体改革論 …………… 自治体の組織や運営の見直し等を最新の事例に基づいて学ぶ

■ コース修了要件

必修科目、選択必修科目(8単位以上)、コース指定科目を含む合計30単位以上を取得し、地域政策に係るポリシー・ペーパーを作成すること

※カリキュラムは変更される場合があります。 ※「地方財政特論」は、地方公共団体金融機構との連携により実施するものです。

■ 1年の流れ

● 春学期(4~7月)

- コース指定科目や選択必修科目を中心に、多くの授業科目を履修します。
- 学期の半ば頃から、ポリシー・ペーパーのテーマの検討を開始します。

● 夏学期(8・9月)

- ポリシー・ペーパーのための研究に取り掛かり、データの収集・分析などを進めます。

● 秋学期(10~1月)

- ポリシー・ペーパーの執筆に向けて、より多くの時間を使うようになります。
- 多くの学生が研究のためのアンケート調査やヒアリングなどを行います。
- 学期末頃のポリシー・ペーパーの提出に向け、指導教員の下で仕上げに取り組みます。

● 冬学期(2・3月)

- ポリシー・ペーパーのプレゼンテーションを行い、その後に指導教員と最終確認をして提出します。
- 必要な単位の修得とポリシー・ペーパーに係る審査を経て、学位とコース修了証が授与されます。

修了生の声

伊地知 英弘（地域政策プログラム第1期生） 横浜市副市長

論文テーマ 横浜市の予算編成過程に関する研究

私がGRIPSに在籍したのは、市役所に入って12年目（係長5年目）という時期でした。そのような時期にGRIPSで1年間、地域政策、政策立案や分析手法等を体系的に学ぶ機会を得られたこと、そして、第一線で活躍される先生方や全国の自治体の仲間と知り合う機会を得られたことは、その後の公務員生活にとってかけがえのない、大きな財産になったと思っています。長い公務員生活の中で、一度業務から離れ、体系的に知識を吸収し直す機会となるGRIPSでの学生生活は、とても貴重だと思いますので、この機会を有効に活用してほしいと思います。



巻嶋 國雄（地域政策プログラム第6期生） 東京都デジタルサービス局デジタルサービス推進部長

論文テーマ 市場化テストによる地方自治体の行政改革に関する研究 ～都営バス事業への市場化テストの導入～

30代前半、中堅に差し掛かる頃に過ごしたGRIPSでの1年間は、行政の現場で培った経験に、知識の後ろ盾を与え、視野を広げ、自らの思索を深める貴重な時間となりました。論文の執筆を通じて鍛えられた論理的思考力は、困難な課題を解決に導く力を育ててくれたと思います。全国の自治体に多くの仲間ができたことも大きな財産です。

学生の7割を占める留学生とは、研究室が一緒に机も隣り合い、自然と話も弾みました。英語プログラムの授業も受講。院生会の仲間と交流パーティや文化祭を開催し、ニュースレターを発刊するなど、留学生との交流を深めました。当時の友人たちとは今もSNSで繋がっています。GRIPSでの学びや経験は、自分を大きく成長させてくれました。私の職業人生を支える柱です。



庄司 真実子（地域政策プログラム第8期生） 和歌山県福祉保健部健康局医務課 課長補佐 兼 医療戦略推進班長

論文テーマ 若年未熟練労働者の能力開発の促進に関する考察 ～職業訓練パウチャーを中心として～

GRIPSでは、地方行財政や組織運営、経済学等を体系的に学ぶとともに、ポリシー・ペーパーの作成を通じ、具体的な政策の在り方について、理論的にじっくりと追及することができました。また、他の自治体や民間企業等からの派遣者、留学生のみならずと公私にわたり交流を深めることもでき、刺激的で充実した1年間でした。

現在、県の医療政策の方向性を定める医療計画や医師確保対策を担当する部門に所属しています。地域の実情に応じて、良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制を構築するためには、多角的な視点と政策構想力が求められます。GRIPSでの学びと経験を生かして、安心して暮らせる社会づくりに貢献できるよう、精一杯頑張っていきたいと思います。

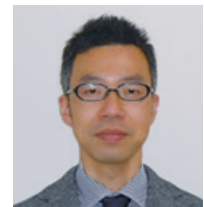


豊島 浩明（地域政策プログラム第15期生） 戸田市副市長

論文テーマ 人口動態が埼玉県内の市町村に与える影響についての考察 (及び県・市町村の連携形態についての検討)

六本木の瀟洒なキャンパス、理論と実務の両面から私の石頭を解きほぐしてくださった先生方、官民混ざって集った国内同級生、そして笑顔とバイタリティに溢れる世界各国からの留学生。この恵まれた環境で、自らのアンテナを高く、好奇心を持って行動すれば、あらゆる方面に学びのドアは開かれていると感じました。

GRIPS在学の1年間で得た知見や人的ネットワークは、自治体職員としてキャリアを重ね、責任と権限が大きくなるほど、自分の中で年々その価値を高めています。机を並べて学んだ同窓生が世界中で活躍している姿を様々な媒体で目にする、私も負けずにこの経験を社会にポジティブに還元していきたい、という思いが強くなります。



豊嶋 泰行 (地域政策コース第1期生) 香川県土木部住宅課 主幹(兼)課長補佐

論文テーマ 空き家対策に係る条例制定及び自治体連携のあり方に関する考察
～空家等対策の推進に関する特別措置法の効果と課題～

技術職(建築)である私がGRIPSで学ぶ機会を得たことは、大きな喜びであり、チャレンジでもありました。専門分野以外の見識を深め、ジェネラリストとしてのスキルを高めることができたのは、先生方の温かいご指導と苦楽を共にした仲間の支えがあったからにほかなりません。

帰庁後は、論文テーマでもある空き家問題に向き合い、新たな施策にも取り組みましたが、その際には、ヒアリングにご協力いただいた先行自治体の取組みや助言が大いに参考になりました。GRIPSでの貴重な経験は、その後の公務員生活をより充実したものにし、新たな課題に直面した際にそれを克服するための大きな支えとなっています。



田島 有里絵 (地域政策コース第5期生) 北海道総合政策部 地域行政局 市町村課

論文テーマ 北海道職員の職務満足に影響を与える要因の分析

「GRIPSに行く!」と決めたとき、正直に言うところ研究したいテーマが決まっていたわけではありませんでした。道民生活に貢献する仕事ができているだろうかという漠然とした不安の中、行政全般について学び直し、自分の今後のあり方を考えたいという思いでした。

新型コロナウイルスの流行でオンライン授業がメインでしたが、先生や事務の皆さまのご尽力で対面と変わらないクオリティの授業を受け、全国から集まった同級生と日々切磋琢磨することができました。GRIPSで得た友人・知識・経験・物事の捉え方・考え方は私に自信を付け、今も支えとなってきています。GRIPSへの挑戦を迷っている方がいたら、ぜひ飛び込んでみてください。最高の1年が待っています!



地域政策プログラム・地域政策コース修了生・在籍生の派遣元 (2000年度～2023年度実績)

■ 地域政策プログラム・地域政策コース学生派遣元別修了者数(合計人数495名)

北海道・東北	72名	北海道	20	青森県	5	岩手県	15	宮城県	5
		秋田県	7	山形県	1	福島県	15	札幌市	4
関東	146名	茨城県	17	栃木県	8	群馬県	5	埼玉県	21
		千葉県	1	東京都	11	東京消防庁	27	神奈川県	7
		宇都宮市	1	さいたま市	11	川口市	2	千葉市	8
		市川市	1	横浜市	19	川崎市	7		
中部	105名	新潟県	10	石川県	1	福井県	2	山梨県	8
		長野県	2	岐阜県	12	静岡県	12	愛知県	21
		三重県	5	新潟市	5	射水市	3	金沢市	1
		浜松市	2	豊田市	20	いなべ市	1		
関西	48名	滋賀県	8	京都府	3	兵庫県	13	奈良県	12
		和歌山県	12						
中国・四国	71名	鳥取県	7	島根県	3	岡山県	4	広島県	5
		山口県	15	徳島県	3	香川県	23	愛媛県	5
		高知県	6						
九州・沖縄	44名	福岡県	12	長崎県	6	熊本県	6	大分県	2
		宮崎県	5	鹿児島県	2	沖縄県	2	北九州市	7
		鹿児島市	2						
その他	9名	衆議院事務局	1	参議院事務局	1	財務省	2	環境省	1
		会計検査院	1	日本看護協会	1	日本海総合病院	1	その他	1

入試情報

- 出願するための資格 …… 学士の学位を有するか、2025年3月末までに取得見込みの者等
- 選抜の方法 …… 第1次審査は書類選考、第2次審査は面接
- 入学者選抜の方法 …… 2025年度の入学生のための試験日程は、次のとおりです。

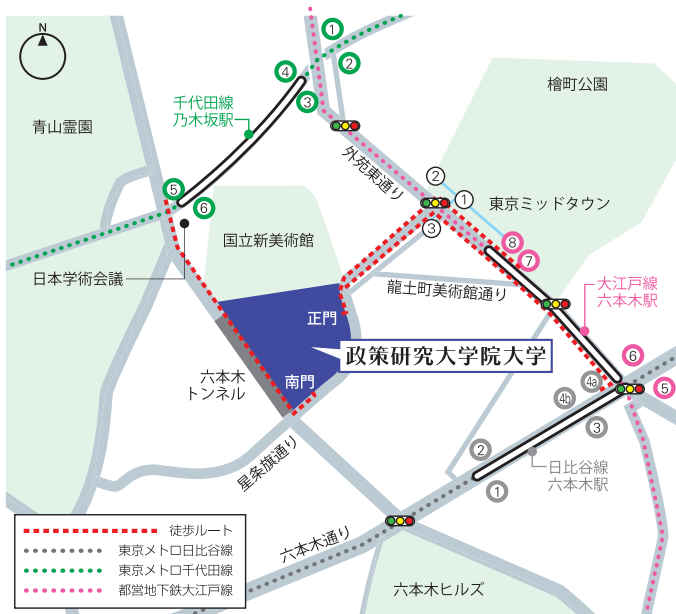
	第1回	第2回
出願受付期限	2024年10月11日(金)	2025年1月10日(金)
第1次審査結果発表	2024年11月7日(木)	2025年1月31日(金)
第2次審査(面接)	2024年11月14日(木)または15日(金)	2025年2月6日(木)または7日(金)
第2次審査結果発表	2024年11月27日(水)	2025年2月28日(金)

学費(予定)

検定料	30,000円	入学料	282,000円	授業料 (年額)	642,960円
-----	---------	-----	----------	-------------	----------

※詳細については「修士課程国内プログラム学生募集要項」を参照してください。
※学生募集要項は、本学ホームページ(<https://www.grips.ac.jp/>)に掲載されます。

アクセス



問い合わせ先

地域政策コースの内容についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

国立大学法人 政策研究大学院大学
公共政策プログラム 地域政策コース
〒106-8677 東京都港区六本木7-22-1
Tel : 03-6439-6290 Fax : 03-6439-6040 URL : <http://www.grips.ac.jp/>

